

は じ め に

平成 23 年度当初予算は、国の経済対策関連の基金を活用し、引き続き、子育てや介護、雇用や経済対策等に対応した結果、予算規模としては平成 22 年度に続き、2 年連続で前年度当初予算を上回るプラス予算となりましたが、国の経済対策関連基金事業を除くと、実質的にはマイナス予算となっています。

これは、昨年 7 月に作成した財政収支見通しにおいて平成 23 年度の財源不足額が 190 億円見込まれたことに加え、これまで財源不足への対応において、大きな役割を果たしてきた財源調整のための基金の残高が大きく減少していることを踏まえて、新たに策定した「滋賀県行財政改革方針」に基づき、選択と集中の更なる徹底等による事業見直しや人件費の抑制に取り組んだことなどによるものです。

また、歳出面の見直しだけでは全ての財源不足に対応することができませんでしたので、財源調整のための基金の取り崩しや財源対策のための県債の発行などで対応するという、非常に厳しい予算編成を余儀なくされました。

一方、こうした大変厳しい財政状況の中にあっても、世界的な景気悪化等の社会経済情勢の変化を背景に、県民の皆さんの間に広がっている様々な不安を解消し、未来に向けて安心を埋め込み、夢と希望の持てる社会を実現していくことが、現在の県政に求められている大きな課題であることから、平成 23 年度を初年度とする「滋賀県基本構想」における 8 つの未来戦略プロジェクトに重点的に予算を配分し、必要な施策を着実に推進することにより、「住み心地日本一の滋賀」の実現を目指していくこととしています。

さらに、予算編成に当たっては、部局の枠にとらわれない横断的な視点に立ち、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、関係部局が共通の目標を持って取り組むとともに、部局間の緊密な連携を図ることにより、最小の費用で最大の効果が得られるよう、組織の持てる力を最大限に発揮していくこととしたところです。

この財政事情は、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを県民の皆さんに広く知っていただくため、年 2 回（5 月と 11 月）定期的に公表しているものです。

今回は平成 23 年度予算の概要、平成 22 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

目 次

滋賀県財政の動向

1 経年変化で見る滋賀県財政の状況	1
2 各種指標から見る滋賀県財政	9
3 財政健全化に向けた取り組み	11

一般会計および特別会計の状況

1 平成 23 年度予算の概要	13
(1) 当初予算編成の背景	13
(2) 当初予算編成の基本方針	14
(3) 当初予算の規模等	15
(4) 当初予算のポイント	18
(5) 一般会計当初予算の内容	23
(6) 一般会計平成 23 年 2 月補正予算の状況	30
(7) 特別会計当初予算の状況	30
2 平成 22 年度下半期の財政状況	32
3 収益事業の経営状況	37

公営企業の業務状況

1 病院事業の業務状況	38
2 工業用水道事業の業務状況	42
3 水道用水供給事業の業務状況	46

健全化判断比率および資金不足比率の概要

1 健全化判断比率および資金不足比率の概要	51
-----------------------	----

付 表	54
-----	----
